

バス視察会を 開催しました。



平成 26 年 6 月 22 日(日)の午後、服部川・郡川第 2 回まちづくり勉強会として、バスによる先進事業地視察会を開催いたしました。当日は、足下の悪い中にもかかわらず、21 名の方々にご参加いただきました。

先進事業地としては、寝屋川市の小路地区や寝屋南地区を中心に、第二京阪道路沿道のまちづくりの状況について視察しました。

寝屋南土地区画整理事業区域内にあるビバモール寝屋川というホームセンター内の会議室をお借りし、小路地区の役員 3 名と寝屋川市の職員 2 名の方々をお招きし、小路地区の土地区画整理事業に向けた進捗についてお聞きし、今までご苦労された点等、意見交換させていただきました。



質疑回答を一部 ご紹介いたします。



- 現在、約 74%の人がこの土地区画整理事業に同意しているとのことでしたが、残りの 26%の反対者については、どのようにご対応される予定でしょうか。

【寝屋川市さんの回答】

26%の方々全員が反対しているのではなく、意見を保留されている方も含みますので、実質、10%程と考えています。現在、未同意の方々に理解して頂けるように、努力しています。

- 未同意の方々の主な理由を教えてください。

【寝屋川市さんの回答】

- ・減歩について納得いかない。
- ・所有地の評価について理解が得られない。
- ・今後も営農を希望されているの方々については減歩が直接作付面積に影響するので納得がいかない。

というのが主な理由です。

- 地域の方々がされたことの中で、努力された点を教えてください。また、アドバイスをいただけたらと思います。

【役員さんの回答】

勉強会などを開催する際は、役員で地権者の方々に連絡をとりました。また、各地権者がどのような意見を持っているのか、個別ヒアリングを実施した際は、役員も同席しました。

振り返ってみて、もっと当初から地権者どうしでのコミュニケーションをとっておいた方が良かったと感じています。世間話から区画整理の話など、さまざまな相談や声掛けを容易にできる間柄になっておくとスムーズだと思います。



小路地区の役員のみなさん

視察会の最後にアンケートに答えていただきましたので、一部ご紹介いたします。



先進事例はとても参考になりました。

私自身はスピード感を持って進めたいと考えていますが、こうした視察会は、あまり前向きでない地権者の方々にこそ参加していただきたいと思いました。

今後進めていくにあたって、我々地権者の積極的な活動も重要であることを再認識しました。

今後の予定について

次回は、7月27日(日)に勉強会を開催させていただきます。

内容は、地権者の皆さんが想う現在の服部川・郡川地区の課題について、ご意見を出していただく“ワークショップ”を開催いたします。詳細については、別紙をご参照下さい。たくさんの方々のご参加をお待ちしております。

編集後記

6月22日に、ご出席いただきました皆様に感謝申し上げます。

土地区画整理事業を実際に経験されてこられた寝屋川市職員の方のお話や、現在活躍されている地権者の役員の方々からお話を伺うことにより、大まかなイメージを捉えることが出来たのではないかと思います。土地区画整理事業を検討していく上での留意点や課題についても、今後の教訓として役立てていけたらと思います。

今後も、積極的な勉強会へのご参加をお願いいたします。

地域・地権者相互のコミュニケーションが大事であること、また、服部川・郡川の地域において、まちづくりの機運醸成が必要なんだろうと感じました。いまだその部分については、弱いように感じています。

今しばらくは、そういった基本的な部分について、世話役の皆さんや、行政から積極的な関与、働きかけをお願いしたいと思います。

大体の話はお伺いしましたが、まだまだ細かいことがわかりません。今後もいろいろなところへ行って数多く話を聞かせてもらいたいです。

当地区は物流関係及び倉庫が良いのではと感じました。

いろいろとお世話になります。今日はいろいろと参考になりました。これからも勉強会に参加させていただいて次の世代の若者たちに良いまちづくりが出来ればと思います。



松浦代表

まちづくりニュースの内容及びまちづくりに関するお問合せ・ご相談は下記までお尋ねください。

八尾市服部川・郡川地区まちづくり勉強会事務局
(八尾市建築都市部都市政策課 立石・今津)

◆ 電話：072-924-3850

◆ FAX：072-924-0207

◆ E-mail：toshiseisaku@city.yao.osaka.jp

